

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院病理診断科、間脳下垂体外科、内分泌代謝科の共同研究として、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族この研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族が診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

2001年1月1日 ～ 2017年12月31日の間に、下垂体腺腫のために虎の門病院間脳下垂体外科に入院し、手術を受けられた方

### 【研究課題名】

下垂体腺腫における術前治療に関わる病理組織学的変化

### 【研究の目的・背景】

近年、成長ホルモン産生下垂体腺腫において、特に術前薬物治療を受けた症例が、今まで利用されてきた病理組織分類の定義に典型的でないものが多いことがわかってきました。現行の下垂体腺腫の病理組織学的分類は、術前治療が行われていない標本で確立されており、術前治療の組織所見への影響の検討は、まだ十分に行われていません。また、ソマトスタチンアナログによる術前治療を受けた腫瘍で、術後治療効果予測のためのソマトスタチン受容体発現を免疫組織学的に検査することが、その後の治療感受性予測に有用であるかも、明らかとはなっていません。このことから、当院において既に染色された標本などを用いて病理組織学的検討を詳細に加えることで、臨床に則した病理分類を構築することを予定しています。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年6月26日 ～ 2020年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院病理診断科井下尚子のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

虎の門病院外への情報の提供はありません。

【利用する診療情報】

検査データ、診療記録、MRI 画像データ、薬歴、病理スライド

【研究代表者】

病理診断科 井下尚子

【虎の門病院における研究責任者】

病理診断科 井下尚子

【利用する者の範囲】（全列記）

虎の門病院 間脳下垂体外科 西岡宏

虎の門病院 間脳下垂体外科 福原紀章

虎の門病院 内分泌代謝科 竹内靖博

虎の門病院 内分泌代謝科 竹下章

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族が診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族が診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2019年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 病理診断科 井下尚子 電話 03-3588-1111(代表)